

令和6年度神戸市市民福祉調査委員会計画策定・検証会議 議事要旨

●日 時 令和6年11月21日(木) 午後4時～午後5時15分

●場 所 神戸市役所1号館8階 福祉局中会議室・オンライン

●議 題

- (1) “こうべ”の市民福祉総合計画2025 検証評価結果について(令和5年度評価)
- (2) 市民福祉に関する行動・意識調査の実施内容について
- (3) 次期市民福祉総合計画の策定に向けて

●主な意見

議題(1)について

- ・ 報告書の内容は面白いと思うが、市として何ができるか、というところまで分析が進められれば良かった。分析が進んでいないために、いい話をしている、という印象になってしまったのが少し残念。
- ・ 近年、子どもや若者が主体的に参加することの重要性が様々な場所で取り上げられている。困っている人に対してどうするか、という視点に向かいがちだが、子どもや若者の声、参画というところに焦点を当てても良いのではないか。
- ・ 今回のヒアリングでは、子どもの居場所の活動の中でも成功例が挙げられたと思う。しかし、子どもの居場所全体の量からすると、このような例は少ない。開けている回数が少ない居場所も多いので、どうすれば今回の例のように活動できるか、その条件などを報告書にも載せていけると良い。
- ・ 神戸市が今回のヒアリング事例において、どのような連携をしたのかを挙げると、より具体的に内容が響くと思う。
- ・ ベストな例を示すのは良いことだと思うので、これを横展開するための指標を作っていたきたい。報告書でも指標が挙げられているが、例えば経済状況によって左右されるものは、行政の努力では改善できない可能性がある。そうした性質のものであっても、状況は把握しておく必要があるが、努力によって改善できる指標をきっちりと押さえていくことが大切だ。
- ・ 協力的な民間事業者とうまく連携して取り組みを進めていくのは非常に重要であるので、意識して進めていただきたい。
- ・ 居場所があることで、そこにいる人たちと話してもいいと思えるような信頼関係の作り方が非常に大事なポイントだと思う。

議題(2)について

- ・ ボランティアに時間を使って参加することも大事かもしれないが、資金提供もボランティアのひとつだと思う。資金の問題は大きいし、資金提供で協力したい人もある程度い

るのではないか。

- ・社会参加に関しての意欲を調査項目に入れていただきたい。
- ・同居する人の年齢について、もう少し年齢層の幅を狭くして選択肢を増やしても良いのではないか。

議題(3)について

- ・提案通り進めていただきたい。
- ・お互いが助け合うという文化を、神戸の街中で展開する必要があると強く思っている。人々が参加しようと思えるような計画にしていきたい。